

## 本市の交通環境等について

## 1 交通環境

宇都宮市は、東京都心から北へ約100キロメートルの距離にあり、栃木県のほぼ中央に位置する。

主な交通網として、東北新幹線、JR宇都宮線、東武宇都宮線の鉄道が通るほか、東北自動車道や国道4号などの広域道路が通っており、東京と東北地方を結ぶ交通の要衝となっている。また、平成23年3月には、本市を通り茨城県の常陸那珂港と群馬県の前橋・高崎を結ぶ北関東自動車道が全線で供用を開始し、北関東における拠点性がますます高まっている。

## (1) 主要交通網の状況

## ① 道路

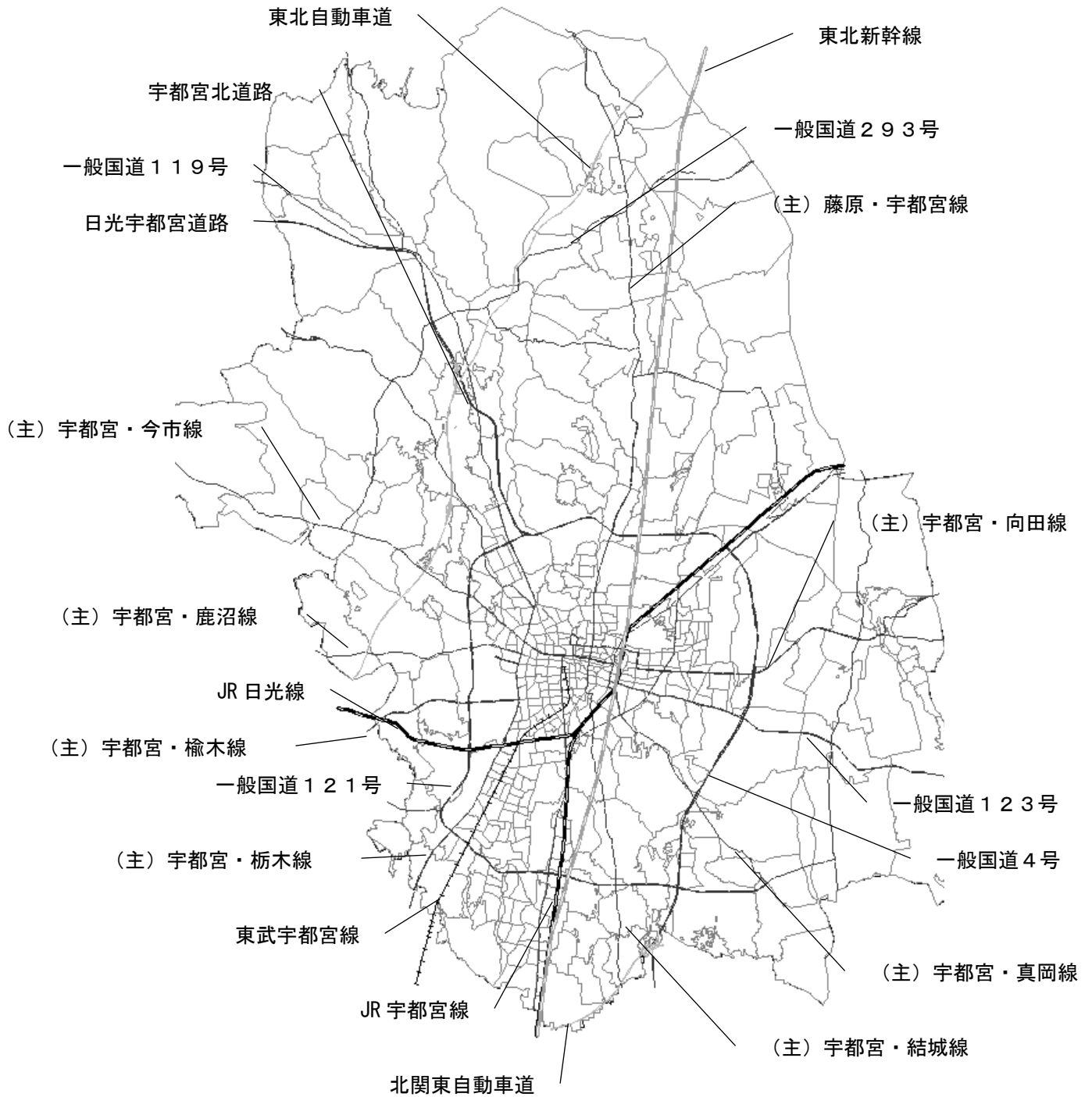
道路体系は、東北自動車道、国道4号線、新4号国道といった南北方向軸と、国道123号線（水戸街道）と大谷街道といった東西方向軸の両軸を基軸とし、国道119号線（日光街道）、田原街道、白沢街道、鬼怒通り、上三川街道、栃木街道、鹿沼街道等により、放射線状に構成されている。また、これらの放射線道路を有機的に接続する環状道路については、外環状線と内環状線が既に環状化されており、都心環状線についても、全環状化に向けて整備が進められている。

さらに、北関東自動車道と新4号国道が「宇都宮上三川IC」で接続するとともに、宇都宮北道路が開通するなど、広域道路網についても着々とその整備が進められており、新たな高速幹線軸が確立されている。

## ② 鉄道

鉄道交通網は、南北を東北新幹線、JR宇都宮線（東北本線）が貫き、それと平行して、中心市街地まで東武宇都宮線が整備されている。また、北西方向には、JR日光線が整備されている。

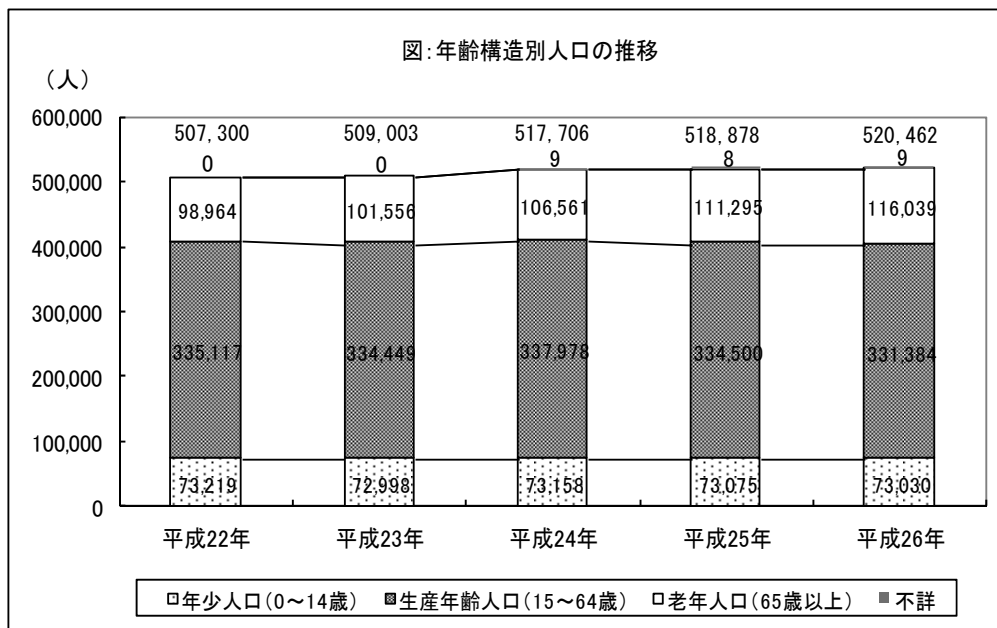
【主要交通網】



## (2) 交通関係統計の推移

### ① 人口の推移

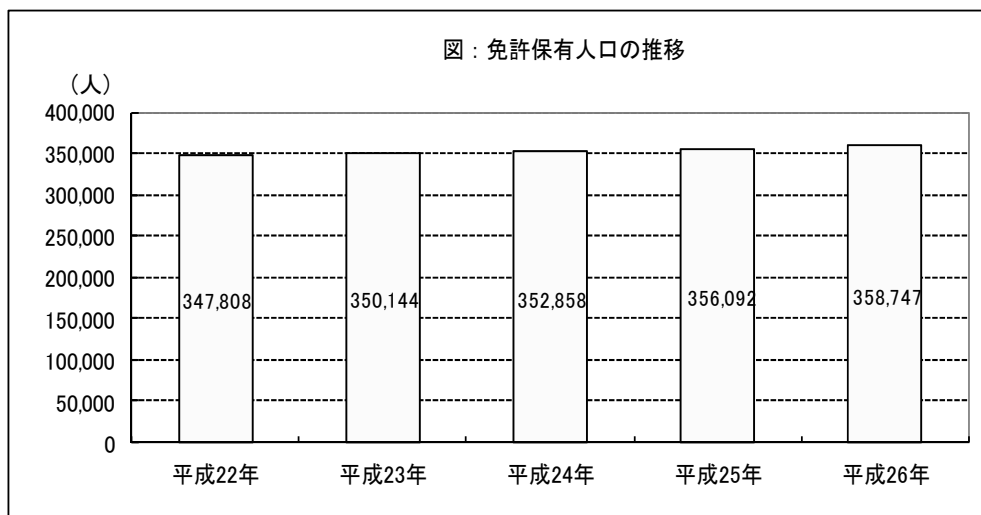
宇都宮市の総人口は、緩やかな人口増加を続けている。第8次計画最終年（平成22年）からは、13,162人増加しており、年齢構造別の人口は、年少人口・生産年齢人口が減少し、老年人口が増加している。



(資料：住民基本台帳)

### ② 免許保有人口の推移

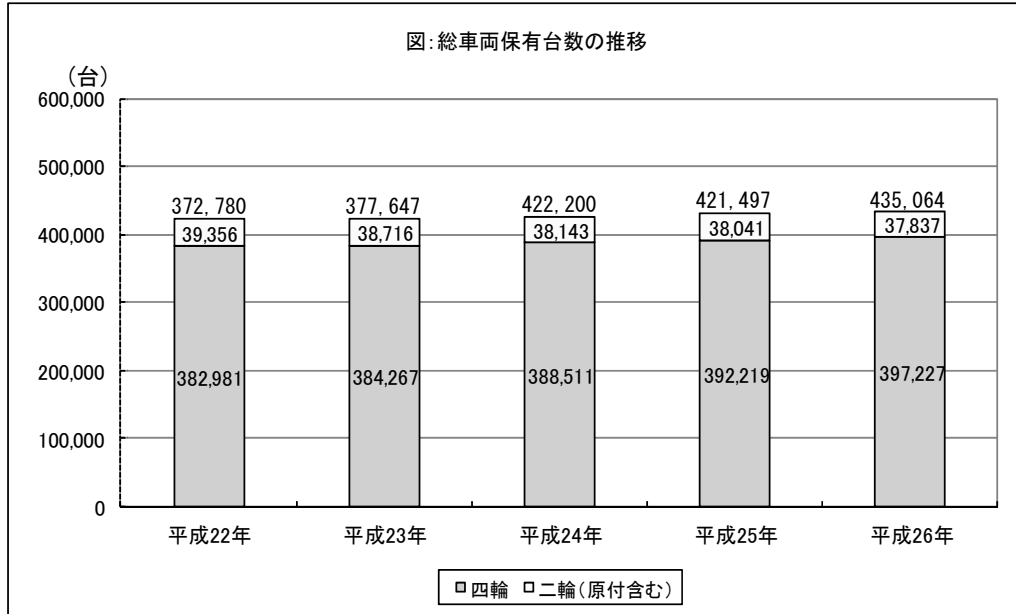
免許保有人口は、年々増加しており、第8次計画最終年（平成22年）から10,939人増加している。



(資料：交通年鑑)

③ 総車両保有台数の推移

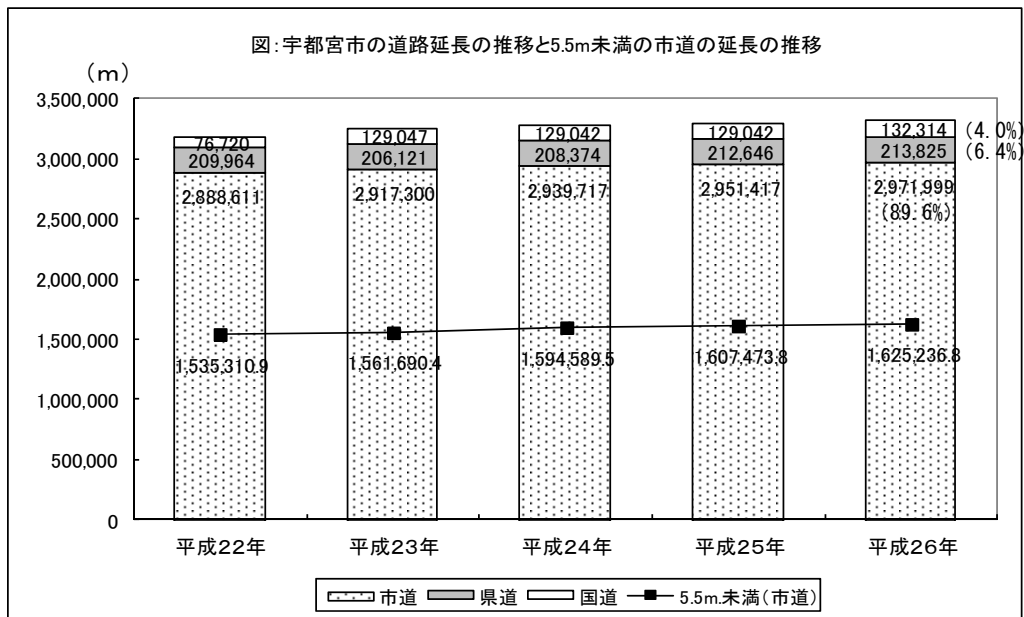
総車両保有台数は、年々増加傾向であり、第8次計画最終年（平成22年）と比較すると62,284台増加している。



(資料：宇都宮市の統計)

④ 道路延長の推移

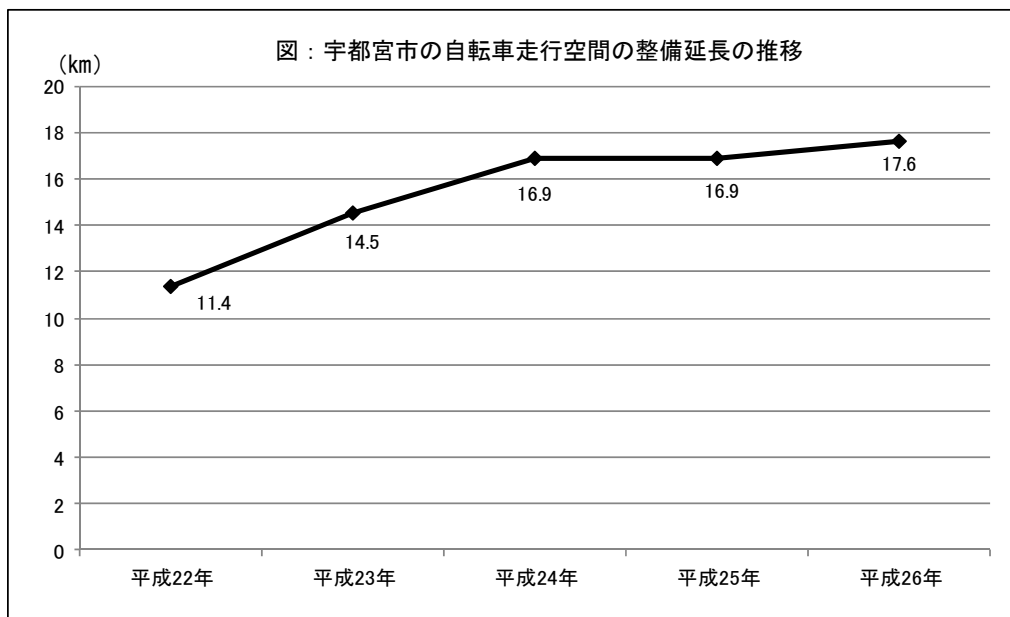
道路延長は、年々伸びており、特に市道の占める割合が高く、全道路に占める割合は、約89.6%となっている。市道における道路幅員別の延長距離では、5.5m未満が多く、幅員が狭い道路が54.7%を占める。



(資料：宇都宮市の統計)

⑤ 自転車走行空間の整備延長の推移

自転車走行空間の整備は、これまでに17.6kmで整備が完了している。



(資料：道路建設課提供資料)